

## 東南アジア日本食事情レポート②

～県産品を用いたメニューの提案でさらなる販路拡大を～

シンガポール事務所

愛媛県は、県産品の販路拡大を図るため 2012 年 4 月にシンガポールで初めて同県単独の試食・商談会を開催しました。商談会后、定期的な受注が入るなど効果があったことから、2013 年 3 月 26 日にシンガポールにおいて 2 回目となる「シンガポール輸出商談会」を開催しました。シンガポール事務所では、当地における自治体の先進的な取組事例を紹介するため、この度の商談会・試食会を取材させていただきました。



【商談会の様子】

### ●愛媛県シンガポール輸出商談会

商談会・試食会は、愛媛県のほかジェトロ愛媛県貿易情報センターなどが主催し、Keppel Bay というヨットハーバーを見渡す和食レストラン「Takumi」で開催されました。愛媛県からは 12 社・団体が参加、シンガポールの日本食レストラン関係者やバイヤー、現地小売店など 30 社ほどから約 50 名が招待されました。商談会・試食会に先立ち、中村時広知事から 2012 年 4 月の商談会后、定期的な受注が入るようになったこと、商談会は通常、食品の説明で終わってしまうが、愛媛県産品を用いたメニューを提案し、愛媛県産品に対する知識を深めたいと話がありました。また、同県は 2012 年 11 月にシンガポールから販売業者を招待し、生産現場を案内したとのこと。試食会では、愛媛県産のみかん、日本酒、アジ、ハマチ、じゃこ天等を用いた料理が提供され、マグロの解体ショーも行われました。

### ●メニュー・調理方法の提案からさらなる販路拡大を

今回の愛媛県商談会・試食会の特徴として、試食会で提供された料理の全てに愛媛県産品が使用されていたことが挙げられます。海外では、日本食品の質の高さ、味の確かさには定評がありますが、新しい食材については調理方法まで提案することが大切なのだと感じました。愛媛県は、香港、台湾、シンガポール、タイを県産品輸出拡大の重点市場と位置付けており、今後もプロモーションを継続していくとのことです。

(新山所長補佐 東京都大田区派遣)